

高校道徳シート

本時の主題	生命に関わる思考実験を通して功利主義・義務論について理解を深める。
「人間としての在り方生き方」を考える教育が目指すこと	
自分にふさわしいよりよい生き方を，選択可能ないくつかの生き方の中から選ぶ上で，自分自身に固有な選択基準ないし判断基準を生徒に持たせること。	
1 道徳教育重点目標	2 発達の段階（高等学校）
目指す生徒の姿	<ul style="list-style-type: none">・自ら考え主体的に判断し行動することができるようになり，人間としての在り方生き方についての関心が高まってくる。・幅広い見方による普遍的な思考ができるようになる。・行為の結果と動機どちらも踏まえて，深い思索ができるようになる。・人間としての在り方生き方について，様々な価値と関わらせながら，多面的・多角的に考えることができるようになる。・国家社会の一員としての自覚に基づき，考えることができるようになる。
1 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を育む。	
2 公共の精神を貴び，民主的な社会及び国家の発展に努める人間を育成する。	
3 伝統と文化を尊重し，それらを育んできた郷土を愛し，地域社会に貢献できる人間を育成する。	
4 他国を尊重し，国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献する人間を育成する。	
5 教養を身に付け，社会人として自立した生活を送れる人間を育成する。	
6 思いやりの心を持ち，多様な他者との協働が図れる人間を育成する。	
3 各教科，科目等と道徳教育の関連	
よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。また国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについて自覚を深める。	
4 本時での道徳教育に関わる場面・指導方法等	
<ul style="list-style-type: none">・思考実験を通して選択・判断の手掛かりについて理解させる。・グループワークを通して合意形成を図る。・社会に参画する主体としての視点に立って思考する振り返りを行う。	